

「ベトナムと Apple」

メガバンクで投資銀行業務等の幅広い経験を持つ。現地従業員 200 名。800 社超のお客様に市場調査、ビジネスマッチング、投資ライセンス、投資ライセンス、会計・税務・監査、労務・法務、M&A など幅広い側面で日系企業を支援。



毎年恒例の Apple Event (Let Loose.) が 2024 年 5 月 7 日午後 11 時 (日本時間) から開催され、第 3 世代 Apple Pencil、対応する新型 iPad (Pro と Air) などがお披露目されました。

このイベントの約 1 ヶ月前、Apple のティム・クック CEO はベトナムを訪問し、工場視察、チン首相との会談、クリエイターなどとの交流などを積極的に行いました。

Apple 発表によると、同社の直接の拠点は無いものの、サプライヤーを通じてベトナムで 20 万人以上の雇用を創出し、サプライヤー全体に 2019 年から現在までの 5 年間で約 400 兆ベトナムドン (165 円換算で 2.42 兆円) を支出したとのこと。

<ベトナムへの製造シフト (脱中国) >

Apple はすでに中国からベトナムへの生産移行を進めていますが、まだ中国生産の方が依然として大きいです。2022 年 6 月に M2 チップを搭載する MacBook Air、MacBook Pro などがプレスリリースされましたが、上海市のロックダウンが原因で生産・供給が追いつかず大きな業績悪化となりました。その後、Foxconn、Pegatron、Winston、Goertek、Luxshare などの大手サプライヤーは、ベトナムで大規模投資を開始し、当初のコンポーネントのみの製造から AirPods、MacBook などの製品製造も開始しています。2023 年末には Apple が BYD (本社: 中国広東省、リチウムイオン電池や EV 車などでも有名) と協力して、iPad 製品開発リソースを中国からベトナムに移転すると報じられました。

<世界 4 位・アセアン域内 1 位の生産拠点>

ベトナムに工場またはオフィスを設置している Apple パートナーの数は、2023 年時点で 35 社。アセアン地域内で 1 位、世界で 4 位にランクされました (1 位中国 158 社、2 位台湾 49 社、3 位日本 44 社)。アナリストの予想によると、iPad と Apple Watch 総生産の 20%、Macbook の 5%、AirPods

の 65% をベトナムでの生産が占めると見られています。

また、製造拠点の移管・拡充に伴い、ベトナムからの Apple 製品の輸出額は、2020 年約 200 億 US ドル、2021 年 260 億 US ドル、2022 年 300 億 US ドルと急速に増加していると言われています。

<Apple ホット 이슈>

- Apple がベトナム北部バクザン省の委託先候補である Luxshare 社の工場を視察したことから、iPhone 生産拠点をベトナムに移管するかもしれないと報道されました。

- 2024 年 3 月、Siri (音声認識アシスタント機能) のベトナム語版開発のため、ベトナム国内でエンジニアの募集を開始したと報道されました。

- 2023 年、ベトナムでもオンラインストアがオープンしました。リアルアップルストアはベトナム国内にはまだありませんので、2024 年中にベトナム最大の経済都市であるホーチミンで 1 号店を開店するかどうかと期待されています。



【iPad mini (第 6 世代) で表示した Let Loose. の画面】

※2024 年 2 月号の[ハッピーメール](#)で、半導体産業の集積についてレポートしていますので、あわせてご参照ください。